

歳児未満を対象に、第1子、2子は月額2万円、第3子以降は月額3万円の支援をするものです。



■新生児聴覚検査 36万円

町独自の事業として、生まれたばかりの新生児に対して、出産した病院で聴覚の検査を行うものです。

■チャイルドシート購入費補助金 10万円

子どもの安全対策として、保護者がチャイルドシートを購入する際に、上限額を1万円として、その1/2を補助するもので、20件分が予算化されました。

■虐待予防コーディネーター 145万円

児童虐待予防相談員として、要保護児童への支援や相談業務などを行います。

■子育て世代交流事業 2万円

母親の悩みの共有やひとりではない体制づくりとして子育ての悩み・息抜きの場として既存のサークル・事業所などへの団体の強化と交流事業などを実施するための補助金額が組み込まれました。

■老人福祉費 351万円

錦野地区にある老人憩の家は、集会所としても活用され避難所にも指定されています。安全確保のため、耐震化が必要となり、診断と耐震設計の委託費用が組み込まれました。

平成29年度

特別会計予算

●国民健康保険事業特別会計 予算

平成29年度も、6千万円を一般会計から繰り入れを行います。検診者を増やすため、はがきや電話での受診勧奨を今年度も行うそうです。また、リフト付の検診車、バリアフリーの場所での検診も検討するそうです。

●介護保険特別会計予算

「グループホーム優夏」が、県からの補助を受け、高台へ移転するための予算4782万円が組み込まれました。事業主体は「医療法人創治（シーサイドホーム）」です。

■地域支援事業費 480万円

要介護等の状態になっても、個々の能力に応じた自立した日常生活ができるよう、生活機能の維持・向上を目的に、体操や筋力トレーニングなどを行うもので、「デイサービスセンター浮鞭」に委託する予算が組み込まれました。

●漁業集落排水事業特別会計 予算

現在、経営戦略を6月に報告できるよう策定中です。



高台へ移転予定の「グループホーム優夏」(入野早咲)



生活機能向上に取り組む「デイサービスセンター浮鞭」

●水道事業特別会計予算

年間の給水量が減ってきているため経営が厳しくなってきました。

●黒潮町水道事業の給水に関する条例の一部改正

将来の負担を考慮して体力のあるうちに経営の適正化を図るため、平成30年4月から水道料金を値上げする改定です。委員からは賛否両論の意見がありました。